創世会

〈質問者〉
大石　勇　議員

予防医療のさらなる拡充は

Q 子ども達へのインフルエンザ等の予防接種費用の負担軽減は、感染の蔓延を防ぐ意味からも、効果的と考える。市長の見解を伺う。

他のワクチン接種を含めて検討する

A 厚生労働省の検討動向や県内各市町の公費助成の実施状況を踏まえ、他のワクチン接種を含めて、検討します。

都市計画税の在り方は

Q 現在、市全体のインフラ投資が減り、都市計画事業も縮小している。市長が考える都市計画税の在り方について見解を伺う。

都市施設の再編整備事業に充てている

A 今後、掛川市がさらに発展していくうえで、都市計画税が果たす役割は大きく、現時点では、現状の課税範囲及び税率は適切なものと考えています。現状では、法の規定により、都市計画税を都市施設の維持管理費・補修に充てることはできませんが、老朽化した都市施設の維持管理、更新、統廃合といった公共施設マネジメントの財源として活用できるよう、国や県に働きかけを行うことも大変重要と考えています。

東京女子医科大学大東キャンパスは

Q 市長は、昨年4月に看護学部1学年の教育方針の決定を受け、市の考えをどのように示してきたのか伺う。

東京女子医科大学大東キャンパス

地域医療の積極的な取り組みを希望することなどを伝えている

A 形を変えたとしても看護学部だけでなく医学部の教育が掛川のキャンパスで行われること、施設を他の者に使ってもらうような考えではなく、大学が高等教育機関として相応しい新たな研究や事業を展開するような企画を示していただきたいこと、掛川市の進めている地域医療を協働で展開する積極的な取り組みを希望していることなどを伝えています。

共に創る掛川

〈質問者〉
窪野愛子　議員

基本計画にどのようにSDGs＊を反映するのか

Q 総合計画策定から3年が経過し、実施計画が最終年度となる。平成31年度施政方針や第2期掛川市教育振興基本計画等にはSDGsの視点を取り入れると記されている。国民の認知度は14％程であるSDGsの視点を基本計画にどのように反映するのか伺う。

＊SDGs（エス・ディー・ジーズ）
誰一人取り残さない社会を実現するため、すべての国や組織が役割を持って、社会・経済・環境に総合的に取り組む国際目標。

重要な社会背景として捉え施策の組み立てを図る

A 掛川市が取り組んできた環境施策は、目標12「持続可能な生産と消費」に合致するなど、掛川市の多くの政策は、SDGsと方向性を共有できているものと思っています。基本計画の見直しにあたっては、SDGsを重要な社会背景として捉え、今後の施策の組み立てを図ります。

必要不可欠である公共施設マネジメントの推進は

Q 本市は平成28年に公共施設等管理計画を策定、平成29年度に公共施設カルテを作成した。平成30年度には庁内実施方針策定、再配置計画（案）策定、施設評価、修繕計画の実施となっていた。公共施設マネジメントの進捗と今後のスケジュールを伺う。

市民の意見を反映させながら再配置計画を策定する

A 公共施設マネジメントを推進していく上で最大の課題である再配置計画を検討するため、平成30年度から各施設のカルテを基に施設評価を実施しており、本年12月頃には、施設の継続、複合化、譲渡、廃止など再配置方針を決定していく予定です。この再配置方針は、議会をはじめ市民の皆様にご意見をいただきたいと思っています。その後、具体的な再配置計画を策定していきたいと考えています。